

年4回発行

◆◆ 会 会 報

通巻

1112



2気象庁は9月1日、今年の夏（6～8月）の日本の平均気温が、1898年の統計開始以降で最も高かったと発表しました。

最高気温が35度以上の「猛暑日」の日数は全国38地点で最多となり、熱中症によるとみられる死者も相次ぎました。

猛暑は農作物にも影響を与え、不作により野菜などの価格が高騰した。夏を過ぎても暑さは続き、今秋（9～11月）の平均気温も統計開始以降、最高を記録した。